「水戸学の道」散策マップ

水戸学の道おすすめルート

------ 水戸学の道

光圀(義公)ルート（約2.5km・約1時間30分）

水戸藩第２代藩主。徳川家康公の孫にあたり、儒学を奨励し、水戸学の基礎を築いた。

水戸黄門助さん格さん像→ A 冠木門→ B 弘道館→ C 大手橋→ D 水戸城大手門→ E 水戸城跡二の丸展示館→ F 水戸城二の丸角櫓→ G 水戸城跡の大シイ→ H 見晴台→ I 杉山門→ J 薬医門→ K 柵町坂下門→ L 義公生誕の地→ 水戸黄門助さん格さん像

斉昭(烈公)ルート（約2.5km・約1時間30分）

水戸藩第９代藩主。15代将軍慶喜公の父であり、日本遺産の弘道館や偕楽園を創建するなど、水戸の歴史に大きな足跡を残した。

水戸黄門助さん格さん像→ A 冠木門→ B 弘道館→ M 孔子廟→ N 弘道館鹿島神社→ O 八卦堂→ P 土塁・堀→ R 水戸東照宮→ 水戸黄門助さん格さん像

慶喜(将軍)ルート（約4km・約2時間30分）

徳川第15代将軍。水戸で育ち５歳の時から弘道館で学問を修めた。30歳の時に将軍となり、大政奉還を行った。

水戸黄門助さん格さん像→ L 義公生誕の地→ K 柵町坂下門→ J 薬医門→ I 杉山門→ H 見晴台→ G 水戸城跡の大シイ→ F 水戸城二の丸角櫓→ E 水戸城跡二の丸展示館→ D 水戸城大手門→ C 大手橋→ B 弘道館→ Q 水戸東武館→ P 土塁・堀→ A 冠木門→ R 水戸東照宮→水戸黄門助さん格さん像

B 弘道館

「水戸が天下の魁となり、日本の国家を護り将来へ発展できる優秀な人材を育成する」とし、徳川斉昭公が創建した水戸藩の藩校。O の八卦堂には弘道館の建学の精神を示す「弘道館記碑」が収められている。
入館料：大人400円/小中学生・70歳以上200円
開館時間：9時～17時
※：10/1～2月中旬は、9時～16時30分
休　館　日：12/29～31

D 水戸城大手門

明治初期に取り壊されるまで、水戸城を代表する門としての役割を果たしていた。景観整備の一環として2020年に復元され、水戸城跡の風情を感じることができる。

E 水戸城跡二の丸展示館

日本遺産に認定された「近世日本の教育遺産群ー学ぶ心・礼節の本源ー」をテーマに、水戸彰考館をはじめとして、水戸の教育遺産の貴重な出土品や資料を展示。
入館料：無料　開館時間：9時～16時30分
休館日：12/29～1/3

J 薬医門

水戸城で現存する建造物の1つ。正面の軒が深く風格のある門構えとなっているのが特徴。建築年代は、その様式から安土桃山時代末期と推測される。

L 義公生誕の地

徳川光圀公が生まれ、4歳になるまで過ごした地。水戸黄門神社が建てられている。

N 弘道館鹿島神社

祭神は、天照大神の国土平定の祖業に貢献した武甕槌命（タケミカヅチノミコト）で、常陸一の宮である鹿島神宮から分霊を歓請して祀ったもの。

R 水戸東照宮

水戸藩初代藩主徳川頼房公が家康公を祀る神社として創建。頼房公が奉納した銅灯籠や斉昭公が考案した戦車「安神車」などが現存する。2021年に創建から400年をむかえた。

F 水戸城二の丸角櫓

水戸城二の丸の南西角にあった二階建ての櫓で、明治中ごろまでに撤去されたが、2021年に復元された。水戸城の歴史に関する資料等を展示。
入館料：無料　開館時間：9時30分～16時
休館日：12/29～1/3